



2022 年 3 月 1 日

## 「2030 年度カーボンニュートラル達成」の目標設定について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、CO2 排出量削減目標の見直しを行い、2030 年度までにカーボンニュートラル※の達成を目指します。

現在、世界では、地球温暖化に伴う異常気象の頻発等により、気候変動への対応の重要性が高まっており、各国においてカーボンニュートラルに向けた取組みが急速に進んでいます。当行も、CDP（環境情報開示において世界的権威を有する英国の非政府組織）による 2021 年気候変動調査において A- を取得するなど、気候変動に関する取組みと情報開示に注力しています。

今後は、地域のトップバンクとして、いち早く自行のカーボンニュートラルを達成したうえで、取引先のお客さまに対して CO2 排出量計測態勢の整備に関するご支援や、サステナブル・ファイナンスによるご融資等を通じ、地域とともに「脱炭素社会」の実現に向けた取組みを一層加速させてまいります。

### 【当行の目標設定】

| これまでの CO2 排出量削減目標                    | 変更後の CO2 排出量目標                             |
|--------------------------------------|--------------------------------------------|
| 2030 年度 CO2 排出量を<br>2013 年度比▲26%削減する | 2030 年度までに CO2 排出量ネットゼロ<br>(カーボンニュートラルを達成) |



また、当行は本年 1 月、当行を含む 11 団体・企業（一般会員）に千葉県（特別会員）を加えた 12 団体・企業で構成する「ちば SDGs 推進ネットワーク」に参加し、事務局としてネットワークの運営に携わっています。これからも、自治体や経済団体・地元企業等と緊密に連携・協働することにより、SDGs 達成へ向けた取組みや、地域が抱える経済・社会・環境の課題解決に向けた活動を強化し、地域経済の持続的成長に貢献してまいります。

※カーボンニュートラル：CO2 排出量をネットゼロにすること。当行では CO2 排出にかかる SCOPE1（直接排出量）と SCOPE2（エネルギー起源間接排出量）を対象とする。

以 上